

2014年1月吉日

各 位

医福食農連携「食でつながるイノベーション」  
シンポジウム開催のお知らせ

京都新聞社

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび医療・福祉・健康分野における国産食材の活用をはじめとした、医・福・食・農の異業種連携の事例を紹介するシンポジウムを別紙要領で開催する運びとなりました。そこで、同分野にかかわる企業・団体・教育機関の皆さまにも、ぜひシンポジウムにご参加いただきたく、ご案内いたします。

同封資料も合わせてご確認いただき、ぜひご参加の申し込みを賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

○同封の概要書をご覧のうえ、ご参加希望の際は、ハガキ・FAX・Eメールのいずれかで、お申し込みください。FAXの場合は、本紙（お申し込み用紙）に必要事項を記入いただき、事務局（京都新聞COM）へお申し込みください。当選者には聴講券をお送りします。※応募者多数の場合、やむなく抽選することがございます。ご了承ください。

京都新聞COM「医福食農シンポジウム」係 宛

○FAXお申し込み用紙（ハガキ・Eメールでもお申し込みいただけます）

ご参加希望の方は、以下にご記入のうえ、075-222-2200へFAXください。

申し込み	〒	
	所属	参加人数 人
	代表者氏名	電話番号

以 上

☆内容についてのお問い合わせは・・・ 京都新聞COM 営業部 担当) 三俣・清水

TEL: 075-241-6171・FAX: 075-222-2200

# 医 福 食 農 連 携

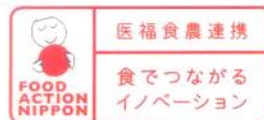
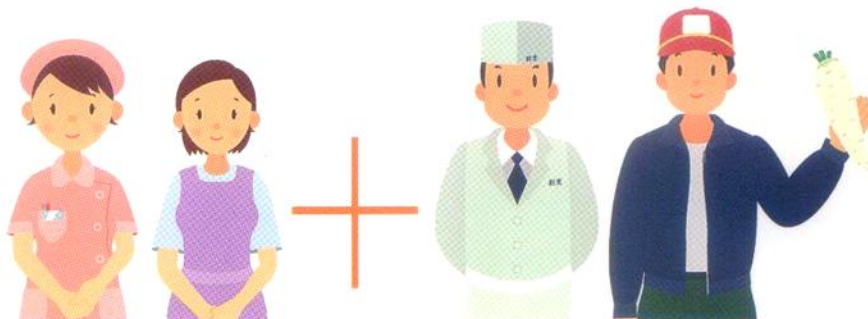
## 「食でつながるイノベーション」シンポジウム

～心と体がよろこぶ、食の新発想～

いま日本中で、医療・福祉と食料・農業の異業種連携によって、  
新しい「食」が生まれています。

おいしくて楽しい病院食や介護食、健康によい食品や薬用作物の生産拡大、  
農作業を活用したリハビリ・生きがいづくり・障がい者の就労支援・・・

このシンポジウムではそうしたさまざまな取り組みを紹介し、  
みんなで一緒にこれからの「食」を考えていきます。



### 2月21日(金) 京都烏丸コンベンションホール

開場12:30 開会13:30 閉会15:45(予定) 京都市中京区烏丸通六角下七丁目634  
(地下鉄烏丸線「四条」駅、阪急京都線「烏丸」駅より徒歩3分)

#### 特別講演 和食と健康

村田 吉弘氏 菊乃井 主人



#### パネルディスカッション

具体的な取り組みを通じた医福食農連携の現状・課題・成功の秘訣・広がる可能性

パネリスト 村田 吉弘氏 菊乃井 主人

永井さゆり氏 社会福祉法人嵐山寮 嵐山寮特別養護老人ホームうたの 副施設長

屋代 朋子氏 京都大原記念病院グループ 栄養課副主任・管理栄養士

富安 広幸氏 社会保険 京都病院 栄養課長・管理栄養士

コーディネーター 小谷あゆみ氏 フリーアナウンサー、農業ジャーナリスト、野菜をつくるアナウンサー「ベジアナ」として活躍中 小谷あゆみ氏



医福食農連携の取り組み展示コーナーもご覧いただけます

12:30～  
中ホールにて

主催／農林水産省近畿農政局、京都新聞社、全国地方新聞社連合会

#### 参加お申し込み方法

参加無料(定員300名)

参加をご希望の方は、「医福食農シンポジウム」と明記の上、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキ、FAX、Eメールでお申し込みください。

※複数名応募の場合はすべての方の必要事項を明記  
締め切り/2月10日(必着)

■ハガキ 〒604-8567 (住所不要)  
京都新聞COM営業部  
「医福食農シンポジウム」係

■FAX 075-222-2200(24時間受付)

■Eメール keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

お問い合わせ 京都新聞COM営業部  
TEL 075-241-6171(平日10:00～17:00)

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。  
※参加者には「聴講券」をお送りいたします。当日受付にて「聴講券」をご提示のうえ、ご入場いただきます。  
※応募者の個人情報は、「聴講券」の発送など当事業の運営目的にのみ使用します。